

---

## 第17回那賀川学識者会議 議事要旨（現地点検）

### 1) 那賀川水系河川整備計画の点検（現地点検）について

#### ① 加茂地区

○湯城委員 加茂谷中学校は過去の洪水で浸水している。堤防の高さはその洪水痕跡よりも高いのか。

○事務局（矢野） 加茂谷中学校の洪水痕跡の高さは堤防でいうと HWL 高となっており、高い。

○角道委員 右岸堤防の方が高くみえるが、気のせいかな。

○事務局（川人） 左右岸の高さは同じである。

○山中委員 以前も言ったが、井桁ブロックはある程度が水の中にないと効果を発揮しない。前回現地に来たときよりは水位が高いようではあるが、通常水位はどこまであるのか。

○事務局（矢野） 渇水気味のため例年の比べると水位は低い状況である。通常水位の場合、井桁ブロックの一段目程度は水に浸かっている。

○湯城委員 出水時は排水ポンプ車の設置を予定していると聞いている。ポンプ車の設置位置はどこか。

また、排水ポンプ車の配置は吉野川と競争となるのか。

○事務局（矢野） 加茂谷川樋門に釜場を確保しており、そこに設置を予定している。排水ポンプ車については本局の方で調整し、優先度が高い箇所へ設置することとなっている。複数河川で同時多発的に水位があがった場合、そうなる可能性がある。

#### ② 和食・土佐地区

○角道委員 断面が複雑に見えるが、現況河川を生かした形状なのか。

○事務局（披田） バック堤ではなく、輪中堤の考え方で計画。輪中堤のため、本来もう少し住家側へ寄せ、断面を小さくすることも検討したが、地元との協議の結果、農地の減少・分断に対する要望、また内水被害に対してもプールが広がり有利となることから、現計画に至った。那賀町も、山からの出水により内水被害を助長しないよう、山裾に水路を整備しており、令和4年7月完成予定。

○武藤委員 この辺（本川下流側）は新しい堤防が出来ているのか。

○事務局（披田） 元々、一部堤防があった。H26の浸水被害を受け、残る箇所（緑部分）を整備。

以上